



科学の甲子園 科学の甲子園ジュニア

全国の科学好きな子どもたちを
応援しているよ!





高校1・2年生相当 対象 科学の甲子園 全国大会

広げよう科学の輪 活かそう科学の英知

科学の甲子園全国大会は、高等学校、中等教育学校後期課程および高等専門学校などの生徒が、科学技術・理科・数学など複数分野における思考力・技能を競い合う対校戦形式の大会です。運動部の競技大会のような、全国の科学好きが集い、競い合い、活躍できる場を構築することで、科学好きの裾野を広げ、トップ層を伸ばすことを目的としています。

概要

- 都道府県大会で選ばれた代表校が参加
- 各校6～8名からなる対校戦
- 理科・数学等の筆記・実技競技を実施
- 優勝校には文部科学大臣賞等を授与するほか、全米大会「サイエンス・オリンピック」に派遣
- 優秀校には各種協賛企業賞等を授与
- 協賛企業によるエキシビションや交流会の実施
- エクスカーション(体験型見学会)の実施

持続的な科学技術
イノベーション人材
の育成・輩出に貢献



中学1・2年生相当 対象 科学の甲子園ジュニア 全国大会

広げよう科学のこころ つなごう友情の絆

科学の甲子園ジュニア全国大会は、全国の中学生が都道府県を代表して科学の思考力・技能を競う大会です。理科、数学など複数分野の競技に共同で取り組むことを通じて、科学の楽しさや面白さを体験し、科学を学ぶことの意義を実感できる機会を多くの生徒に提供します。探究心や創造性に優れた人材の育成、科学好きの裾野拡大を目的としています。

概要

- 都道府県大会で選ばれた代表チームが参加
- 1チームは6名で結成
- 同一県内複数校による混成チームも可
- 優勝チームには文部科学大臣賞等のほか、「科学の甲子園全国大会」に特別参加資格を授与
- 理科・数学等の筆記・実技競技を実施
- 優秀校には各種協賛企業賞等を授与
- 協賛企業によるエキシビションや交流会の実施

科学技術への
興味・関心を喚起。
裾野を拡大し
才能を伸ばす

中学・高校と4年間
参加しました。
最高に面白かったです!

選手の声



◀選手同士の交流の
機会は大会の楽しみ
のひとつ

競技だけでなく交流
という科学の甲子園の主旨を
強く感じた4日間でした。
このつながりを今後も
活かしていきたいです。

大会の仕組みと連携自治体

STEP 2 全国大会

(主催:JST、共催:連携自治体)
都道府県大会で選ばれた精鋭
が集まる全国大会。47チーム
の出場選手団の他、関係者や
観客も含め、1,000名以上の規
模で開催されます。



各都道府県で優勝した
47の代表校・代表チーム

STEP 1 47都道府県大会

(主催:教育委員会)
全国大会代表選考は、各都
道府県教育委員会が、当該
都道府県内のすべての高等
学校などを対象に実施。

連携自治体とは

全国大会の企画運営・推進等に協力いただく地方自治体のことで、公募により選ばれます。主な役割は、競技監督等の運営支援、実施会場や宿泊施設の確保、エクスカーション先の提案など。
全国大会の開催により、理数教育推進機運の向上や人的ネットワーク構築・教員育成に貢献できるほか、経済効果、広報効果も期待できます。

チームで競技に
取り組んだことにより
自分の意見を言う大切さ
を改めて感じました。

選手の声



高いレベルの全国の
人たちと競いあえたので、
これからもっとがんばろうと思
うきっかけとなりました。

▶理系・文系の進路
を決定する前に、理
数の楽しさ体験する
機会を提供



大会の流れ

オープニング



選手宣誓



筆記競技



実技競技



エキシビション



フェアウェルパーティー



表彰式



エンディング



科学の甲子園
イメージキャラクター
アツピン

全国32の学校から応募された146点より
最優秀作品として選ばれたキャラクター。
名前の由来は作者によれば『ひらめき』の
「あっ!」、「ピンと来た」の「ピン」、パワー
アップの「アップ」を掛け合わせた、
とのこと。



お問い合わせ

国立研究開発法人科学技術振興機構
理数学習推進部 才能育成グループ

TEL:048-226-5665 FAX:048-226-5684 E-mail:koushien@jst.go.jp

※添付ファイルやリンクを含むメールの送信はご遠慮ください。※回答に時間を要する場合があります。